

PRODUCTIZATION

日々の経験を、 次の相談と価値へ。

専門家のブランディング・発信・商品化支援のご案内

同じ説明を、何度繰り返してこられたでしょうか。その説明こそが、これから
同じ課題に向き合う人にとって最も必要な情報です。

自分たちの経験値を、どんどん伝えていく。

Why

専門家の価値は、資格名だけではない

日々の相談、案件対応、経営者との対話、制度活用、トラブル予防のための助言。そのなかには、**これから同じ課題に向き合う人に役立つ実務知**があります。

しかし多くの場合、その知見は一回の相談で消えてしまいます。同じ説明を何十回と繰り返し、そのたびに時間を使い、それでも届く相手は目の前の一人だけ——これは、専門家にとっても、地域にとっても、もったいない状態です。



「もう一度、最初から説明する」を減らす

よく受ける質問をFAQにする。制度の解説をチェックリストにする。セミナー資料を教材に整える。——それだけで、初回相談の質が上がり、説明にかけていた時間が本来の専門判断に回せます。

同時に、その資料自体が「この先生はこういう考え方をする」という判断材料になり、依頼前のミスマッチを減らします。

すべてを一度に商品化する必要はありません

小さな形から始められます。よく受ける質問を1枚にまとめる。既存の研修資料を整える。対談を記事にする。そこから広げていけば十分です。

What

商品・情報資産にできるもの

形	元になるもの	主な使いどころ
FAQ・よくある相談集	繰り返し受けている質問	初回相談前にお渡しし、相談の質を上げる
解説記事	制度改正・実務上の注意点	Web・ニュースレターでの発信
チェックリスト	確認漏れが起きやすい項目	経営者が自分で状況を点検できる
ヒアリングシート	初回相談で必ず聞くこと	相談前に埋めていただき、面談時間を短縮
セミナー資料	これまでの登壇資料	研修・勉強会・商工会等での講演
オンライン講座・研修教材	セミナー資料の再編集	企業研修・継続的な学習機会
業務手順書・SOP	事務所内の進め方	同業・企業の実務担当者向け
契約・管理・確認のテンプレート	実務で使っている書式の考え方	企業が自社で整備するための土台
監修ガイドブック	上記の組み合わせ	地域・業種別の実務ガイド
音声・動画コンテンツ	対談・講演の録音	文章が苦手な方に最も負担が少ない入口
専門家相談メニュー	対応可能な相談の型	相談内容と範囲が事前に分かる状態にする
業界・地域別の実務レポート	案件を通じて見えた傾向	企業の意思決定材料

実績・数値の扱い

掲載する事例・数値・実績は、事実に基づくもののみを使用します。守秘義務のある内容は、特定できない形に加工したうえで、ご本人の確認を経てから公開します。

How

進め方

1 よくある相談を集める

直近半年で繰り返し受けたご相談を、思い出せる範囲で挙げていただきます。

2 同じ説明を繰り返しているテーマを選ぶ

最も回数が多く、最も説明に時間がかかっているものを1つ選びます。

3 FAQ・チェックリスト・記事にする

対談または既存資料をもとに、CO-LINK側で下書きを作成します。

4 先生が確認する

内容の正確性、表現、公開してよい範囲をご確認いただきます。

5 無料資料または小さな有料商品にする

配布経路と価格の考え方をご相談のうえ決めます。

6 セミナー・講座・研修へ展開する

反応があったテーマから、話す形へ広げます。

7 テンプレート・実務キットへ広げる

読んで終わりではなく、使える道具の形にします。

8 リンク・コ・マーケットで紹介・販売する

必要とする企業・実務者へ届ける流通に乗せます。

9 企業向け導入支援へつなげる

資料だけでは進まない企業に、導入まで伴走する形を検討します。

CO-LINKが担う作業

対談の実施と記録、下書きの作成、構成の整理、図表化、デザイン、公開作業、販売導線の設計、更新管理。先生方をお願いするのは、**話すことと、確認すること**が中心です。

Rules

監修・更新・公開のルール

制度は変わります。古い情報が先生のお名前で残り続けることは、最も避けなければならない事態です。

公開前	ご本人または権限をお持ちの方の確認を必ず経ます。確認前の公開は行いません。
表記	「〇年〇月時点の情報」を明記し、根拠となる公式情報の所在を示します。
更新	制度改正を検知した際にご連絡し、改訂または取り下げをご判断いただきます。
取り下げ	いつでも、理由を問わず公開の停止をご依頼いただけます。速やかに対応します。
著作権	著作権の帰属は事前に文書で取り決めます。既定で先生に帰属する扱いを基本とします。
AI利用	整理・下書き・編集の補助にとどめ、専門判断には用いませぬ。利用範囲を事前にご説明します。

安心設計（LINK-A参加案内と共通）

- ✓ 受任するかどうかは、各専門家が独立して判断します。CO-LINKが受任を求めることはありません。
- ✓ 案件・顧客・紹介・報酬・売上・受任を保証するものではありません。
- ✓ 氏名・資格・所属・写真・プロフィールは、ご本人の承認なしに公開しません。
- ✓ AIは整理・下書き・編集の補助であり、専門判断の代替ではありません。
- ✓ 公開前には必ず、ご本人または権限をお持ちの方にご確認いただきます。
- ✓ 守秘義務・利益相反・職業倫理・所属団体の規程を常に優先します。
- ✓ 土業への紹介に関して、紹介料の授受には一切関与しません。

Start Small

まずは、一つだけ

いちばん多く聞かれる質問を、一つ教えてください。

そこから始めます。原稿を書いていただく必要はありません。話していただければ、こちらで形にします。

STEP 1

60分の対談

ご専門の話をうかがいます。
準備は不要です。

STEP 2

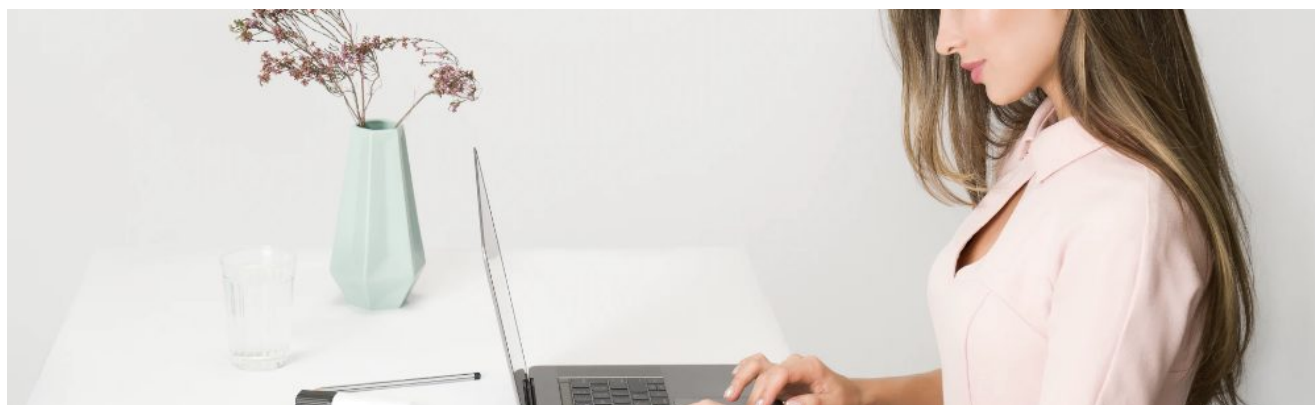
下書きの確認

1～2週間で文章の形にして
お戻しします。

STEP 3

公開の判断

公開するか、しないか。先生
がお決めください。



書く時間が取れなくても、話す時間さえあれば形にできます。

お問い合わせ	co-linkweb.com/contact / info@co-link1618.com
リンク・コ・マーケット	co-linkweb.com/brands/link-market

ご相談から支援開始までの流れ

1 ご相談(無料・オンライン可)

いま起きていること、困っていることをそのままお話しください。整理されていなくて構いません。

2 状況と論点の整理

確認すべき事項、関係する制度、必要な資料、想定される期限を一覧にしてお返しします。

3 進め方のご提案

CO-LINKが担う範囲、専門家に依頼する範囲、費用と期間の目安をお示しします。

4 着手・進行管理

実務の実行と関係者調整を進め、決定事項と次の一手を記録して共有します。

本資料の位置づけと注意事項

- 本資料は一般的なご案内であり、個別の法的・税務的・財務的な最終判断を示すものではありません。
- 商品化の可否・形式・価格・公開範囲は、すべて先生方のご判断に従います。CO-LINKから公開を求めることはありません。
- 売上・受講者数・反響を保証するものではありません。
- 制度・法令・要件は改正されることがあります。ご検討の際は必ず最新の公式情報をご確認ください。
- 採択・受給・融資・採用・成約・売却・節税などの成果を保証するものではありません。
- 資格が必要な業務(法律・税務・登記・労務・許認可・鑑定評価等)は、有資格者がそれぞれの責任において行います。

※これは一般情報です。最終判断前に必ず該当分野の専門家へ確認してください。

株式会社CO-LINK

〒225-0015 神奈川県横浜市青葉区荏田北1-2-1
Platform412
TEL 050-3155-1904 / info@co-link1618.com
法人番号 3020003026938

お問い合わせ

Web:co-linkweb.com
お問い合わせフォーム:co-linkweb.com/contact
無料診断:co-linkweb.com/diagnosis